

## 平成27年度の 重点事業を県に要望



7月23日、小山田市長をはじめ関係部長などが県庁を訪れ、平成27年度の重点事業について、三村知事ほか県の担当部長に説明しました。

今年度は、市と県、国が連携して取り組むべき事業など、新規5件、継続12件の合わせて17件を要望。説明会では、特に重要性の高い5件について協力を求めました。



問政策財政課政策企画係 ☎⑤6710

### 新規

#### ①屋内サッカースタジアム（全天候型多目的球技場）の設置について

**市** 国民体育大会の開催や国際大会のキャンプ地としての活用により、県民に夢を与えることのできる施設として、県唯一のサッカー拠点施設のある当市に、サッカーを主体とした県立の全天候型多目的球技場を設置していただきたい。

**県** 県の財政は依然として厳しい状況であり、大規模施設の整備については、既存施設の耐震および老朽化対策を優先し計画的に実施したい。

#### ②奥入瀬溪流における公衆トイレの整備について

**市** 奥入瀬溪流を訪れるかたが快適に散策できるよう、石ヶ戸～子ノ口間における公衆トイレの新設および<sup>たまなれ</sup>玉簾にある公衆トイレの水洗化に取り組んでいただきたい。

**県** 国立公園内であるため、電源の地下埋設に多額の費用を要することから、早急な対応は困難である。当面は、既存トイレのくみ取り回数の増加および消臭剤の投入により利用者の利便性の向上を図りたい。

#### ③ユネスコエコパークへの登録推進について

**市** ユネスコエコパークへの登録に向けた取り組みについて、秋田、青森両県および関係市町との調整や環境省、林野庁との連携についてご協力いただきたい。

**県** 環境省をはじめとする関係機関との調整や鳥獣保護区など、県が定める諸計画との調整について協力していきたい。

#### ④周産期医療関係医師・麻酔科医の確保について

**市** 地域から信頼される病院として良質の医療を継続して提供していくために、周産期医療医師および麻酔科医師を確保するよう、国に対し働きかけていただきたい。

**県** 修学資金の特別枠の貸与者について、基幹病院で研修してよいという要件で医師の偏在を防止する施策を行っている。このような医師が増えれば専門科の偏りなども解消されると考えられる。引き続き大学と連携し進めていきたい。

### 継続

#### ⑤地域高規格道路の整備について

**市** 人や物の広域的な移動・交流の拡大や救急搬送の効率化を図るために、秋田県小坂町から当市を經由して八戸市につながる区間について、地域高規格道路に指定されるよう、国に対し働きかけていただきたい。

**県** 国では、平成10年度以降、計画路線への格上げを含め新たな路線の指定は行っておらず、整備は厳しいものと考えられる。自動車専用道路にこだわらず、バイパス的な整備などにより要望内容に応える手法も考えていきたい。

その他の要望事項	※区分
国の新たな農業・農村政策における財政措置等について	新規
野生きのこの出荷制限の早期解除について	継続
主要地方道三沢十和田線の整備について	継続
低迷する外国人観光客誘客対策について	継続
有料老人ホーム等及び居宅サービス事業所の開設時の市町村意見の反映について	継続
介護給付費の国の負担割合の見直しについて	継続
一般国道103号奥入瀬 <sup>あおふなやま</sup> （青楓山）バイパスの整備について	継続
一般国道102号バイパスの整備について	継続
一般国道4号の整備について	継続
一般国道45号及び一般国道102号の整備について	継続
主要地方道十和田三戸線の整備について	継続
三沢空港利用促進対策の強化について	継続

※新規…新しい事業として要望した事業  
継続…昨年度に引き続き要望している事業

### 意見交換（フリートーク）

当市での開催が正式に決定した「第10回全国B-1グランプリ」について市長と知事が意見交換を行いました。

**市** 当市での開催に当たっては、交通アクセスや宿泊施設の面などにおいて、さまざまな工夫が必要と考えていますが、心のこもった“おもてなし”で全国からの来訪者を迎えるためにも、県のご支援ご協力をいただきたい。

**県** B-1グランプリの開催により、十和田市をはじめ県内全域の観光に勢いをつけたいと考えている。さまざまな課題もあると思うが、県の「地域の元気支援事業」などを活用して支援していきたい。